

関係者各位

**日本社会教育学会プロジェクト研究
「子ども・若者支援専門職の必要性和資質に関する研究」
第2回定例研究会（日独ユースワーク専門家会議）のご案内**

本プロジェクト研究では、今年度、日本ならびに欧州の子ども・若者支援に関わる事業の現状と分析を踏まえ、子ども・若者支援に関わる専門職の専門性、資質能力の枠組みを検討し、養成カリキュラムの編成・構築に繋げていくことを展望していきます。

今回の専門家会議では、国立青少年教育振興機構からご来賓頂き、ドイツのユースワークの観点から国内のユースワーカーの現状課題に焦点を当て、日本におけるユースワーカーの制度化、専門職化に向けて議論する予定です。

記

日 時：平成26年10月16日（木）13:00～18:00

場 所：国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟2階イベントホール（定員30名）

<file:///Users/hasuike/Documents/国立オリンピック記念青少年総合センター.htm>

内 容：ユースワーカーの専門職化に向けての討議①ユースワークの基盤理論

基調講演：ドイツにおけるユースワークの基盤理論Social pedagogyとは？

報告者：元IJABドイツ国際ユースワーク専門機関国際青少年政策協力担当部長

Niels Meggers（ニールス・メガース）氏

ユースワーカーの専門職化に向けての討議②ユースワーカーの制度化・専門職化

基調講演：なぜドイツでは制度化、専門職化が進んだのか？その成果と現状課題

報告者：元IJABドイツ国際ユースワーク専門機関国際青少年政策協力担当部長

Niels Meggers（ニールス・メガース）氏

参加申し込み先：ipity2014@gmail.com プロジェクト研究「子ども・若者支援専門職」

配付資料の準備の都合もございますので、申込の際には、①氏名、②所属先名、

③連絡先（電話番号とメールアドレス）を明記の上、10/13（月）までに上記までお知らせ下さい。また少人数制の会議となっておりますので、先着順の受付となります。予めご了承下さい。

その他：討議①②についてはそれぞれ基調講演の後、参加者全員でのフリー討議を予定しています。

参加の際には、下記の書籍ならびに参加申込み後に事務局より送付いたします資料をあらかじめご一読いただきますようお願い致します。

生田 周二・大串 隆吉・吉岡 真佐樹編著『青少年育成・援助と教育—ドイツ社会教育の歴史、活動、専門性に学ぶ』有信堂（2011年）